

教育 かしま

第 12 号

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進していくための情報を掲載していきます。

発行日
平成 23 年 2 月 15 日
発 行
鹿嶋市教育委員会
連絡先
鹿嶋市教育委員会 教育総務課
Tel 0299-82-2911 (内線 533)

「鹿嶋っ子」を育てるには ～大橋教育長～

厳冬にも関わらず、学校に通っている子どもたちは寒さにも負けず、半袖半ズボンで学校を駆け回っていました。そして、大きな声で挨拶してくれました。その姿を見て、自然と身が引き締まりました。幼稚園や小中学校も、学習活動や部活動など様々な場面において、新しい年度に向けての準備に力が入る時期を迎えています。

日頃から、市民の皆様には本市教育行政にご理解、ご協力並びにご支援いただき、改めて感謝申し上げます。

さて、昨年 10 月 1 日に教育長を拝命してから 4 ヶ月が過ぎました。その間、各幼稚園、小中学校などの教育施設を訪問させていただき、多くの先生方や学校を支援していただいている市民の皆様とお会いし、さらに教育懇談会などを通じ、意見交換をさせていただきました。

意見交換の中で感じたことは、皆様共通している思いはただ一つということ。それは、『鹿嶋市が理想とする「鹿嶋っ子」を育てるにはどうしたらよいか』ということでした。教育施設の訪問などを通じ、市民の皆様がそれぞれの立場で、技術や経験を生かしながら、学校教育に携わっていただいていることを実感しているところです。

保護者の方や市民の皆様のご支援により、多くの目で一人ひとりの子どもに触れることができます。保護者（家庭）・市民（地域）・学校それぞれの目にはそれぞれの特徴があり、また、役割があります。多くの目に関わることで、視野の広い、将来性のある子どもを育てることができるのではないのでしょうか。そのために、家庭・地域・学校それぞれの役割を果たし、そして互いに協力することで、家庭での教育の充実、地域での子育ての風土の醸成そして学校での教育活動の充実が図れると考えます。

その中で教育委員会の役割は、学校はもとより、教育活動に携わっていただいている市民の皆様を支援することであると考えております。そして、教育長の職責は、教育委員会の考えを実際の施策として実行することであると考える。

私たちは、これからも最大限の努力をしてみたい。そして、繰り返しになりますが、「鹿嶋っ子」を育むためには、学校・教育委員会のほか、保護者や地域の皆様のご理解とご協力なくしては成し得ません。改めて、皆様のご支援とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。



▲ 大橋 正彦 教育長

■ おおはし・まさひこ (58 歳)

昭和 51 年鹿島町役場入庁。企画課長、企画部長、総務部長などを歴任。昨年 9 月鹿嶋市役所を退職。家族は妻と子の 3 人暮らし。趣味は登山、読書、ウォーキング。宮中在住。

芸術の秋を満喫～オペラ教室～

昨年の10月14日に、大野地区の小中学校を対象とした児童生徒芸術劇場「楽しいオペラ教室」が大野中学校の体育館を会場として開催されました。オペラを演じてくださったのは、プロのオペラ劇団「ヒロ・ムジカ」の皆様です。オペラではマイクをまったく使わずに、生の声だけで素晴らしい歌声を披露してくださいました。



▲ オペラ「カルメン」

小学生向けの午前の部の演目は、「声の紹介」と「ないたあかおに」でした。「声の紹介」では、ソプラノ・アルト・テノール・バスそれぞれの声を、実際に歌いながら、時にはおもしろおかしく紹介してくれました。「ないたあかおに」では、役者の皆様が鬼や村人たちの衣装をまとうて演じる、昔話のオペラを楽しみました。終盤のシーンでは、涙する子もいたようです。

中学生向けの午後の部では、オペラ「カルメン」のハイライトが演じられました。プロが演じる迫真の愛憎劇に、中学生も息をのんで見入っていました。また中学生の部では、何名かの生徒にオペラに参加してもらいました。緊張しながらも、見事にオペラの一部をつくりあげていました。

本物のオペラを観劇することは、子どもたちにとって貴重な体験になったかと思います。芸術の秋にふさわしい、素晴らしいオペラ教室となりました。

第36回鹿嶋市駅伝大会



▲ 男子の部のスタート

1月16日、市内外から過去最多の142チームが参加し、第36回鹿嶋市駅伝大会が開催されました。

当日は、早朝までの降雪によりコースの一部が凍結するなど、悪コンディションではありましたが、約1,300名のランナーがスポーツセンターのゴールを目指して力走し、途中棄権もなく全チームがタスキをつなぐことができました。早朝から除雪作業や中継所運営を行っていただいた地区まちづくり委員会、交通整理を行っていただいた鹿島地区・大野地区安全協会、そして、大会全般の業務を担った鹿嶋市体育協会及び鹿嶋市体育指導委員連絡協議会、そのほか多くの関係者の皆様のご協力により、大会が無事、成功裡に終わりました。皆様には、改めて、感謝申し上げます。ありがとうございました。

鹿島神宮スタートの24キロコースでは、一般・高校生男子の部が千葉県旭市から出場したチーム「アイマ」、中学生男子の部は銚田市「旭中サッカーA」がそれぞれ優勝しました。鹿島大野駅スタートの9キロコースでは、一般・高校生女子の部が「鹿島高校陸上部」、中学生女子の部は千葉県「東庄（とうのしょう）中陸上部」がそれぞれ優勝しました。

鹿嶋市駅伝大会も今年で36回を迎え「スポーツ先進のまち・かしま」の名にふさわしく、多くの皆様に親しまれる歴史ある大会になりました。

「①の一番に鹿島神宮」「はい！」

冷え切った昼の上に寒さを吹き飛ばす元気なかけ声が響きました。1月23日に第40回新春文化財愛護かるた大会がスポーツセンターの柔道場で開催され、子どもから大人まで約200名が参加しました。応援に駆け付けた保護者の中は、幼いころ参加していた方も多く、読み手の文句を聞きながら子どもと一緒に真剣な表情でかるたを目で追いかけていました。

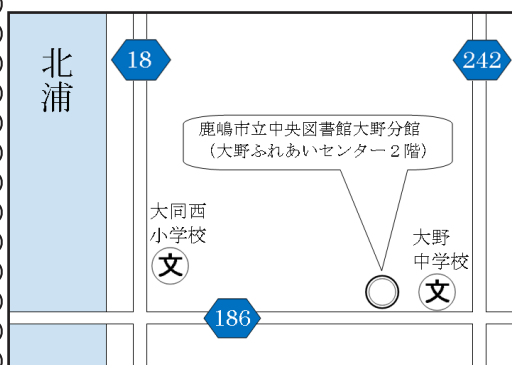


▲ 真剣な表情のかるた大会

昭和43・44年当時の鹿島町が文化庁より文化財愛護モデル地区に指定されたのがきっかけで、文化財愛護協会が発足しました。その仕事の一つとして昭和46年に子どもたちに郷土の文化財を知ってもらおうと考案・作成されたのが文化財愛護かるたです。版画で制作されていますので絵札の色合いもきれいで、札の文句も覚えやすい七五調になっています。鹿島で制作された文化財愛護かるたが雑誌で紹介されると全国各地で同じようなかるたが制作され、あっという間に広まりました。すでに第6版の印刷で、この種の増版としては異例のベストセラーになっています。

文化財愛護かるたが制作されてから「高松かるた」、「大野今昔かるた」、「豊津親子かるた」がそれぞれの地区で作られました。どれもみな地区にある史跡や文化財、昔からの言い伝えなどを調べて作られています。これを機会に皆様の地区にある郷土（ふるさと）の史跡や文化財に関心をもっていただきたいものです。

図書館大野分館がリニューアルオープン！



▲ 概略地図

鹿嶋市立中央図書館大野分館は、大野区域の新しい活動拠点を目的にした大野ふれあいセンター2階に本年4月1日、リニューアルオープンします。

床面積は438.3㎡で旧分館の約8倍、蔵書数で約3倍にあたる3万冊、雑誌も種類を増やして開館の予定です。蔵書構成については、昨年9月に実施した大野分館利用アンケートも参考に選書を行いました。ご要望の多かった閲覧コーナーや学習室を完備した新しい大野分館を、多くの市民の皆様にご利用いただきたいと願っています。

なお、大野分館で資料の借出をされる場合には、図書利用カードが必要になります。既に図書利用カードをお持ちの方は、新しい大野分館でもそのままご利用いただけます。お持ちでない方は、4月1日開館以降には混雑が予想されますので、免許証、保険証、学生証などを持参いただいて中央図書館での事前作成をお願いします。



▲ 大野ふれあいセンターの外観

【所在地】	鹿嶋市大字津賀1919-1
【開館時間】	午前10時から午後6時
【休館日】	月曜日、月末資料整理日、 特別資料整理期間、年末年始

鹿嶋市読書感想文コンクール表彰式

鹿嶋市では、本大好きっ子推進プランとして、学校図書館の改修と学校図書館司書の配置を進める一方で、小中学生が、読書後の思いを感想文にまとめることをとおして、想像力豊かな人間性や表現力を培い、読書意欲を高め、読書活動を推し進めることをめざした読書感想文コンクールを実施しています。

今年度も4,124点もの応募作品があり、力作が多く寄せられました。どの作品も、本との出会いをきっかけに自分自身を見つめていたのが伝わってくる作品でした。賞には、市長賞、市議会議長賞、教育長賞、市中央図書館長賞、鹿嶋市読書団体連合会長賞、優秀賞が用意され、入賞した87名の児童生徒の表彰式を、平成22年11月25日に鹿嶋勤労文化会館で行いました。

入賞者のうち、市長賞に輝いた方々をご紹介します。

波野小	1年	西溪	桃実	さん	鉢形小	2年	青野	颯太	さん
豊郷小	3年	猿田	浩平	さん	中野東小	4年	田口	桃香	さん
鹿島小	5年	高安	秀真	さん	高松小	6年	加藤	歩	さん
大野中	1年	飯尾	瑞紀	さん	鹿島中	2年	清水	梨紗	さん
平井中	3年	鈴木	智世	さん					



▲ 表彰式で感想文を朗読披露する
鉢形小2年 青野颯太 さん

「挨拶いっぱい運動標語・ポスターコンクール」入賞作品

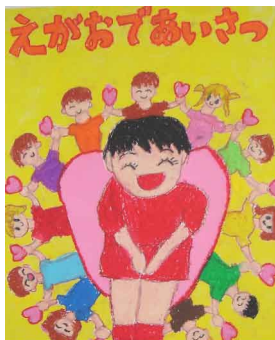
鹿嶋市まちづくり市民懇話会では、児童一人ひとりが挨拶について正しく理解し、人と人が挨拶によりコミュニケーションを深めることを目的として、市内小学校の児童から「挨拶運動」に関する標語とポスターを募集しました。

標語の部では2,008点、ポスターの部では166点の応募があり、審査した結果、次の作品がそれぞれ選ばれました。なお、鹿嶋市ホームページで全ての入賞作品を見ることができます。

★標語の部

グランプリ	あいさつは	心のドアを	ひらくカギ	豊津小5年	大森陽太さん
最優秀賞	おはようと	あいさつすれば	いい気持ち	豊津小3年	出口綾華さん
最優秀賞	おはようと	行きかう朝の	つうがくろ	高松小6年	秋永実李さん

★ポスターの部



グランプリ 三笠小2年
野崎薫子さん



最優秀賞 豊津小1年
出口大和さん



最優秀賞 豊郷小4年
皆川侑摩さん